

2012年度・第15回、13年度・第4回（9月度）伊豆一周ウォーキング報告書

文・写真 後藤隆徳

日時 2013. 09. 04（水・晴）=39名

コース 浮島7:40—燈明ヶ崎8:30—大田子9:35—今山班—事故発生10:20—救急車着10:50—搬送（西伊豆病院）—検査・手当終了14:00県道班—網屋崎分岐—安良里14:30—温泉「クリスタルビュー・ホテル」

8月度・伊豆ウォーキングは、猛暑でお休みだったので、皆さんに会うのは久しぶりだった。前回最終の浮島から出発。天気は台風の影響でハッキリしなかった。御殿場はザンザン降りだったという。

燈明ヶ崎に向かうと早くも降って来た。一時かなりの雨だったが、崎に着くと止んで傘は必要なくなった。

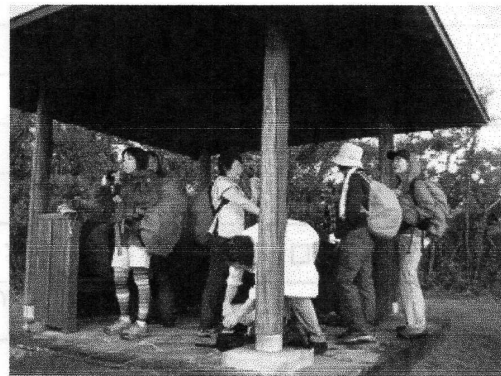
田子の岬に下りると弁天様が祀ってあった。弁天様は海の守り神だ。大田子に向かうと港に東洋水産（マルちゃん）の工場があった。HPによるとこの工場は、鰹節を原料にした「だしの素」を作っているそうだ。

ただ、四国の様に「いぶし」用の「薪」が周辺に見られなかったので、恐らく「いぶし」は「電気」+「液？」かも。ま、味に微妙な違いがあると思いますが・・・。

大田子に着いて、ここで西伊豆歩道「今山コース」と「県道コース」に分かれる。どちらを選ぶかは、特に問題が無い限り個人の意思。県道は、6名でHさんがリーダーで行く。



烏帽子山方面



燈明ヶ崎休憩場



田子の弁天様

今山コースは、全コースの三分の一は細い車道。かなり奥まで宿泊設備があるからだ。山道の部分はこの車道終了地点から始まっている。

ただし、先日の大雨の影響で取り付きの10mが大きくえぐられ崩壊し階段はズタズタ。だから慎重に足場を選んで上らなければ危険だった。

私が先頭で何人か上って皆の上り具合を俯瞰していたら下から「緊急連絡」が入った。「頭を打った」「血が流れている」「こりゃ酷い」が聞こえる。何方が落ちたようだ。すぐ現場に急行。といっても見えるすぐの所で良かった。落ちたのはOさんだった。

微妙な箇所の乗越で乗越し切れず仰向けにひっくり返ったようだ。頭・耳・腕から出血。背中が痛いと訴える。幸い意識はしっかりしている。二人で腕を支え5m下の車道に下ろし横にする。

本人は拒否したが、すぐ救急車を呼ぶ。止血して飲料水を飲んで貰う。幸い重症ではないので、皆には行動を続けて貰う。K・S・Aさんと私が残り救急車を待つ。ところが救急車は大田子まで一回来たが、車道が狭いので軽の救急車をまた取りに行ったらしい。道を把握していないのかね～。ったく～。

兎も角、軽救急車は5名の隊員を乗せ30分後に来た。流石にプロである。隊長と呼ばれる男はテキパキと指示を出し、応急手当を進める。Oさんは酸素吸入し、ストレッチャーに乗せ病院に向かう。Oさんと親しいAさんが付き添って行った。

救急車を見送り、我々も皆の後を追ひ、今山下で合流し昼食とした。Aさんからの連絡では、腕4針・頭2針縫い、肋骨が一本折れていた。頭は現在診察中の連絡が入った。

安良里に着き、取りあえず皆をクリスタル・ビューホテルに運び入浴して貰う。その間、Hと私はOさんが搬送された西伊豆病院に向かった。病院ではAさんが待っていて、もうじき検査は終了と告げられた。程なくOさんが現れた。体はちょっと痛むものの、自力歩行出来たので今日は一緒に帰ることになった。兎に角一安心だった。



四人でホテルに向かい皆と合流し経過を報告する。一応、今日の段階では、頭も問題はないようだ。帰って更に精密検査をすれば、なお安心である。

わくわく塾を含め、私がこれらの行事を担当して11年になるが、救急車の世話になったのは今回で2回目。改めて「安全な行事实施」を更に推し進めなければならないと、思った次第です。



関連HP

裾野麗峰山の会

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/

長泉さわやかハイキング

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/

長泉ウォーキングクラブ

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/kiroku-7.html

長泉八十八巡礼会

<http://nagaizumi88jyunrei.web.fc2.com/index.html>

長泉富士山の会

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/kiroku-6.html